

# ひとなる

発行：白川町教育委員会  
—「白川を愛し、たくましく心の  
あったかい子を育む美濃白川」—

## 新緑のお便り 「心温まる」春のお便り!!

光の子保育園より



おいしい「おやつ」作れるかな。  
食べるのが楽しみ!!

黒川保育園より



「静かに、静かに…」なんか動  
いているぞ…

佐見保育園より



自慢の「佐見とうふ」を食べて心  
も体も大きくなるぞ!!

白川保育園より



みんな仲良し!! みんなでわく  
わく、たくさん遊ぼうね!!

白川北保育園より



大きくて素敵な「こいのぼり」を  
みんなで作ろう!!



日本では、保育園において、子どもに育ててほしい能力や態度を5つにまとめています。

- 「健康」…健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う
- 「人間関係」…周りの人と支え合って生活するために、自立心や人と関わる力を養う
- 「環境」…様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う
- 「言葉」…思いを言葉で表現する力や、相手の話を聞く意欲、言葉に対する感覚を養う
- 「表現」…表現することを通して、豊かな感性を表現する力を養う

写真のように、白川町の保育園では、白川の豊かな自然の中で、いろいろな仕掛けや工夫をすることで、

子どもたちに5つの項目がバランスよく育つように考えられた保育の内容を実施しています。そのために、保育士は、日ごろの子どもの様子から、一人一人の内面を理解しようと心がけています。また、それを保育士同士で交流しながら、よりよい発達を促せるように日々考えています。あたたかい保育士に見守られて、白川の子は本当に幸せです。

「こどもまんなか 児童福祉週間」  
令和7年5月5日～11日

いのちをつなぐ

～親の気持ちを理解してほしい～ ～こんな親になってほしい～

昔、インターネットの記事で気になったものがありました。親になってみないとわからないことがあります。しかしながら、「ぜひ子どもに伝えたい!!」と思える文章でした。下に掲載します。

子どものころ、朝早く起きなくてはならないことがあると、私は父に向かってよく頼んだものだった。  
「明日の朝、起こしてくれる？」

そう言って、起こしてもらいたい時刻を告げる。すると、父はうなずき、それがたとえどのような時間であっても必ず起こしてくれた。私は起こしてもらったたびに不思議に思ったものだった。お父さんはどうしてこんなに早い時間に起きるのだろうか？

やがて私も父親になると、子どもに頼まれることになった。  
「明日の朝、起こしてくれる？」

そして、気が付くと、子どもに言われた時刻に起きて、子どもを起こしている自分がいた。自分が親になってみると、子どものために朝早く起きるなどということは、少しも難しいことではないことが分かる。しかし、起こされた子どもの目には、おそらく子どもの頃の私が浮かべていただろうものと同じ種類の不思議そうな光が宿っている。お父さんはどうしてこんなに早い時間に起きられるのだろうか？

もし子どもに面と向かってそう尋ねられたら、どう答えていただろう。大人になると目ざとくなるのさ。あるいは、大人になると責任が増すのさ、とでも答えていただろうか。しかし、どれも違っているような気がする。親にとっては子どもに頼まれ事をするのが少しも苦痛ではないのだ。もしかしたら、それは「喜び」ですらあるかもしれない。

あるいは、私の子どもの頃の食卓の記憶に、こんなものがある。食べ盛りの私のおかずの皿に何もなくなってしまふと、母が自分の皿から肉や魚をさらに移してくれて、言う。

「食べなさい」  
そのときも、子どものころの私は思ったはずだ。お母さんはおなかが空かないのだろうか、と。

そして、気が付くと親になった私も母と同じようなことをやっていた。年を取ると、育ち盛りのときほどの食欲がなくなるということもあるだろう。だが、それだけでなく、なにより子どもがおいしそうに食べている姿を見ることは自分の「喜び」であるからだ。(中略)

ある意味では、親は子に、「睡眠」や「食物」を削って、与えているとも言えなくもない。だがそれは親の「義務」だからというのではなく、「喜び」であるからだ。それを愛情と言ってもよい。しかし、大方の親たちは、それを愛情とも意識しないまま、ごく普通に行っている。「睡眠」を削り、「食物」を削るということは、「生命」を削るということと等しい行為である。自分の命を削って、子に与える。それが何でもないように行われることによって、「いのち」もまたごく自然に伝えられることになるのだ。(中略)

親から「いのち」を与えられた記憶は、自分の子どもへ「いのち」を与える行為につながっていく。つまり、それは「いのち」をめぐる記憶の連鎖というべきものだ。もし、その記憶の連鎖が途絶えたら、人間にとってなにより大切なはずの「いのち」の連鎖もまた途絶えてしまうのかもしれない…

## 6月の子どもたちの主な行事

6月4日(水)～6日(金) 青雲のつどい(町内中学2年生)

6月5日(木)～6日(金) クオーレ宿泊研修(町内小学5年生)

6月9日(月) 観劇会(佐見小)

6月15日(日) 少年の主張大会(青少年健全育成大会) 町民会館で開催されます。ぜひご参観ください。